

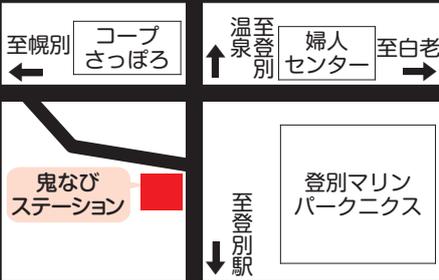


登別の玄関口に 観光の情報拠点が生

『鬼なびステーション登別』オープン

4/2

▶ オープンに先立ち行われたテープカット（写真左から上田登別市雇用創造推進協議会長、小笠原市長、成田登別商店会長）



Information

登別東町2丁目26番地5・☎4441
営業時間 9時～18時（火曜日は定休日）



4月2日(土)、日本工学院北海道専門学校や登別市社会福祉協議会、登別観光協会、登別商工会議所、市の5団体により構成する登別市雇用創造推進協議会が、登別東町2丁目に『鬼なびステーション登別』を開設しました。

『鬼なびステーション登別』は、国の雇用創出事業の委託を受けた協議会が空き店舗を活用し、特産品販売や販路拡大による観光の振興に資することを目的に実施しています。

施設には、登別をはじめ近隣の観光案内が備えられているほか、登別ブランド推奨品などの販売ブースや市内で活動する写真愛好家の作品や陶芸品などを紹介するコーナーが設けられています。

10時のオープンには、駅に降り立った観光客や地域の方が詰め掛けたほか、湯鬼神や『にゃんまげ』などが登場するなど、早速、にぎわいを見せていました。



▲参加者から記念品を受け取る新1年生

交通事故に 気をつけて

4/7

新入学児童に対する交通安全啓発運動

4月7日(木)、青葉小学校で「新入学児童に対する交通安全啓発運動」（市、登別市交通安全協会主催）が行われました。

この運動は、新1年生が交通事故に遭わないよう交通安全を啓発することを目的に、入学式に合わせて毎年行われています。

青葉小学校の玄関前で行われた今年の啓発運動は、約40人が参加。参加者は保護者と一緒に登校した新1年生に交通安全運動を呼び掛け、記念の学用品などが入った手提げかばんを手渡すと、受け取った新1年生は思わぬプレゼントに笑顔を見せていました。